

南 風

津島市立南小学校 校長室だより 第19号
平成27年 1月19日 (月2回発行)
南小HP『南風学舎』 ダイジェスト版
※ 合わせて南小学校HPをご覧ください

『津島の達人 ジュニア検定』が終了

1月9日(金)、津島市立南小学校の6年生と『津島の達人ジュニア検定 事前対策ゼミ』の授業を各クラスごとに行いました。子どもたちと過去問を解きながら、本番に歴史読本を使って、どのように問題を解いたら良いかについて説明しました。今年で5回目をむかえた『津島の達人ジュニア検定』と4回目となった『津島の達人ジュニア選手権』(津島市教育委員会主催・西尾張CATV共催)のための事前対策ゼミとなりました。少し難しい点もありましたが、楽しく学習してくれました。プレゼンを使って、楽しい歴史の話も付け加えておきました。

16日(金)、『津島の達人 ジュニア検定』を各クラスごとに行いました。テキストを見ながら、子どもたちは一生懸命問題を解いていました。いよいよ『津島の達人ジュニア選手権』(津島市教育委員会・西尾張CATV主催)が2月15日(日)に津島児童科学館で開催されます。3人1組のグループでクイズ大会を行います。ふるってご参加ください。



『津島南小 おはなし会』

1月14日(水)、ストーリーテリングの会(おはなしポケット)の皆さんが南小学校の低学年の児童に語りかけをしてくださいました。1年生「おいしいおかゆ」(グリム童話)「北風に会いにいった少年」(ノルウェーの昔話)2年生「ねずみのすもう」(日本昔話)「ホレおばさん」(グリム童話)のストーリーテリングをしていただきました。



キラリ一枚、学校日誌より

南小校舎の雪の風景、1月2日。前回ほど降り積もることはありませんでした。ぶらり学校を見回った時の写真です。大変きれいでした。



めざせ!

津島の

達人⑩

野口

米次郎



野口米次郎は、明治8年(1875)、津島町中島(現本町4丁目)に生まれました。幼いころから英語を学び、慶應義塾に入学しました。その後、一人でサンフランシスコへ。単身アメリカへ渡ったのは、友人で破天荒な生き方をしていた志賀重昂(後に世界的な地理学者となりました)の影響があったと言われています。

明治28年、アメリカ合衆国の有名な詩人ミラーと出会い、英語による詩作を始めます。翌年には21才の若さで初めての詩集『明界と幽界』を出版。また『日本少女のアメリカ日記』を月刊誌に連載し、みずみずしい日本語を英語に翻訳して好評を得ました。こうして英文学者としての地位を確立しました。この時、英文推敲を手伝ったのがレオニー・ギルモアです。米次郎とレオニーは激しい恋に落ちます。この二人の間にできた子どもが、世界的な彫刻家で庭園をテーマとして様々な環境芸術・舞台芸術に取り組んだイサム・野口です。

明治35年にはイギリスへ渡り、翌年には、日本でも著名となる『東海より』の詩集を出版します。この詩集を読んだ石川啄木は「岩手日報」で「(野口)氏の詩、今や東西の文壇に喧伝せられ、才名高く天漢に澎湃(物事の盛んな勢い)たらんとす」と絶賛しました。

米次郎は帰国後、慶應義塾大学の教授となり、英文学・詩論を講義しました。また浮世絵などの日本美術や能・歌舞伎などの伝統文化を欧米に紹介しました。これらの仕事は岡倉天心や新渡戸稲造に匹敵するといわれる由縁です。昭和22年、73才で永眠。昭和25年、米次郎の業績を讃えるため、津島市民の募金により、天王川公園の中ノ島に銅像が建てられました。また米次郎の生家も本町4丁目に現存しています。